

【日吉津村】校務DX計画

令和6年12月26日付6初修教第10号「『GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト』に基づく自己点検のフォローアップの実施結果（速報値）について（通知）」（以下「自己点検結果」という。）の中で、本村において達成率が低い項目の中から特に取り組むべきと考えるものについて、重点的に取り組む。

1 教職員と保護者間の連絡のデジタル化

自己点検結果によると、調査やアンケートのクラウド化による教職員と児童間の連絡等のデジタル化や、欠席連絡等のクラウド化による教職員と保護者間の連絡のデジタル化は進んでいる。しかし、クラウドを活用した保護者への便りの配信やアンケートの実施についてはあまり進んでいない状況にある。各種クラウドサービスを活用した校務の効率化等の情報交換・先進事例の共有を行いながら、一層のデジタル化を進める。

2 FAX・押印等の制度・慣行の見直しについて

自己点検結果によると、対象の学校でFAXを使用しており、保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類があるという状況である。今後は押印の省略及び記名をもって署名に代えることで事務の簡素化を進めていく。FAXでのやり取りの見直しについては、日吉津村教育委員会から所管学校に対して働きかけを行う。

3 教育情報セキュリティポリシーの策定について

令和6年度時点では、自治体の情報セキュリティポリシー準用している。今後、クラウド上のデータやクラウドサービスを活用することを前提とした教育情報セキュリティポリシーを策定して学校へ周知するとともに、適切な情報資産の管理を行う。

4 次世代校務DX環境の整備について

令和5年3月に文部科学省が取りまとめた「GIGAスクール構想の下での校務DXについて～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」において方向性が示された「次世代校務DX」環境（ロケーションフリーでの校務実施、ダッシュボード上での各種データの可視化を通じたきめ細やかな学習指導等が可能となる校務DXの在り方）をめざし、今後必要な環境整備について、県教育委員会及び県内の市町教育委員会とも連携しながら、検討を深める。